

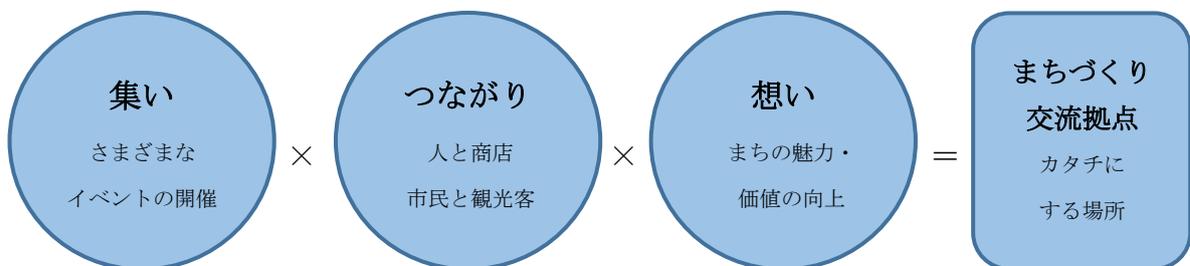
賑わい創出施設（仮称）の整備・運営方針等について

中心市街地においては、都市機能の集積を図るとともに、まち歩きの楽しさを高めるための利便性や回遊性の向上、滞留時間の延長、クオリティの高い商業空間の創出、町並みの景観保全などを図り、「観光まちづくり」の視点に立った取り組みをすすめることが課題となっています。

特に、国道158号線以北の宮川河川軸の周辺エリアにおいて、市民や観光客の回遊性の向上や滞在時間の延長を図るため、昨年7月に供用開始した行神橋の周辺に人の流れを「誘引」し、誘引した人を「滞留」させ、滞留した人を本町通りや周辺エリアへ「誘導」する機能を備えた賑わい創出施設（仮称）を整備し、周辺エリアはもとより、中心市街地の回遊性の向上、賑わいの創出を図ります。

1. コンセプト

みんなが集い、つながり、想いをカタチにする場所
「まちづくり交流拠点」



まちの魅力をもっと知り、広め、まちの価値を高めたいという想いが
この空間に集ったいろいろな人とつながって、楽しみながら、想いをカタチにする場所

2. 整備・運営方針

行神橋の特徴あるデザインと照明との連続性を保ちながら、飛騨高山の町家建築の特徴を活かしつつ、照明などの工夫により昼夜問わず、市民・観光客の回遊を促すとともに、訪れた人々が自ら情報発信することを誘発する新たなランドマークとなる施設を目指します。

(1) 規模等

敷地面積		約 1 4 7 m ²
施設区分	母屋	約 1 6 7 m ² (延床面積)
	土蔵	約 2 5 m ² (延床面積)
	屋外休憩スペース	約 2 3 m ²
その他	道路等美装化	約 2 8 0 m ²

(2) 施設区分ごとの利用形態 別 紙

1 階	開放感を活かした明るく賑わいのある多目的スペース 案内所
	事務室
	トイレ、授乳室
	倉庫
2 階	会議室
土蔵	壁に囲まれた居心地のいい小規模な多目的スペース
屋外休憩 スペース	宮川水辺空間を望む憩いの場

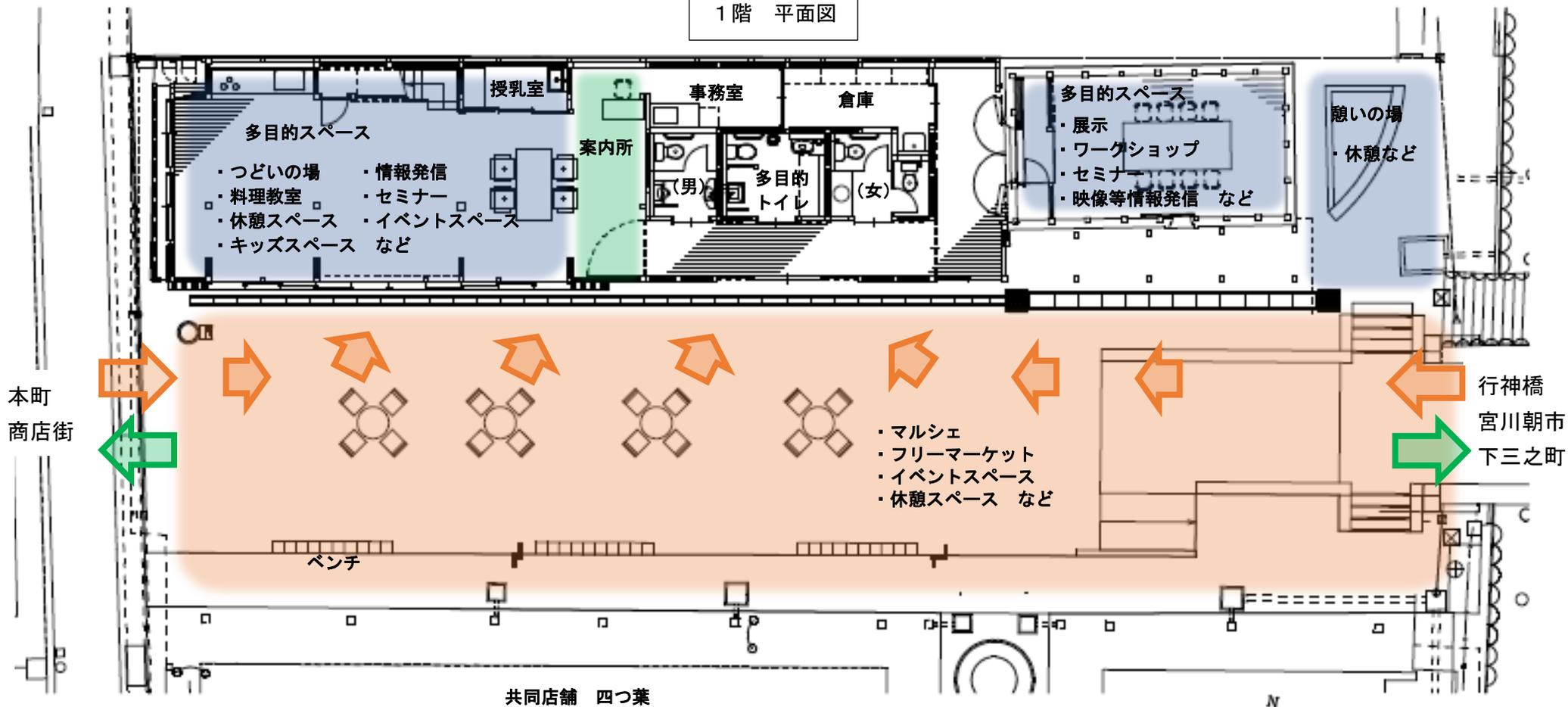
3. 今後のスケジュール

令和 3 年 4 月～ 改修工事

令和 4 年 4 月～ 供用開始

問 合 先	
担当課	商工観光部 商工課
課長	倉畑 政之
係名	雇用・産業創出係
担当監	太江 敦 担当 小萩 紀宏
連絡先	電話 (直通 0577-35-3144) (内線 2215)

1階 平面図

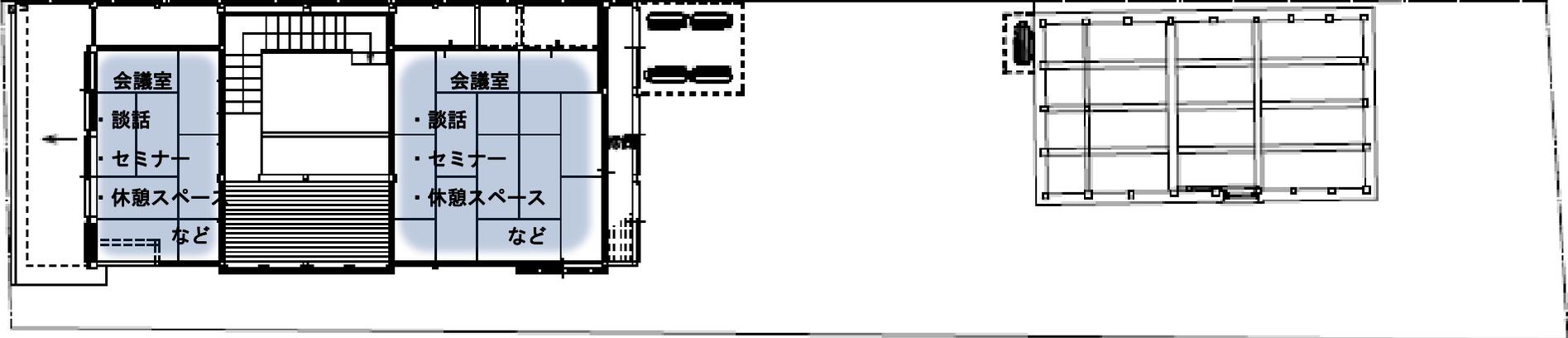


- 誘引機能
- 滞留機能
- 誘導機能



別紙

2階 平面図



イメージパース



本町商店街より



行神橋より